

# 公民館まつり

3月10日(土)・11日(日)



にぎわう会場(去年のまつり会場から)



### 催し物

内 容	時 間	会 場
囲碁・将棋・チェス自由対局	午前10時～午後4時	中央公民館
オカリナ演奏	午前11時～正午	文化会館 (小ホール) (120サロン)
ヨーガ公開練習	午前11時～正午	
フルート演奏	午後1時～2時	
太極拳公開練習	午後2時～4時	
詩吟の独吟・合吟	午後2時30分～3時30分	

  

内 容	時 間	会 場
お茶席	午前10時30分～午後3時	中央公民館
百人一首公開練習	午前10時～午後3時	文化会館 (小ホール) (120サロン)
ハーモニカ演奏	午前10時30分～正午	
女声コーラス	午後1時～2時	
気功公開練習	午後1時30分～2時30分	

### 展示発表

内 容	会 場
書道、短歌、文集、鎌倉彫、仏像、七宝焼、手芸、洋裁、パッチワーク、藤工芸、版画、切り絵、絵手紙、表装、天体写真、トールペイント、活動報告(消費生活、山歩き、ガールスカウト)、和裁、アートフラワー、粘土クラフトほか	中央公民館
書道、日本画、水彩画、油絵、パステル画、デッサン、植物画、生け花、写真、ステンドグラス、パッチワーク、手描き染め、トールペイント、刺しゅう、活動報告(語学、心理学、日本語教室)ほか	文化会館

体験コーナー	10日(土)	11日(日)
コサージュづくり	文化会館1階	スタンブラリー
絵手紙づくり	文化会館1階	子どもサイコロゲーム
粘土クラフトづくり	中央公民館3階	文化会館1階受付

## 「ひびきあい、ともに学ぼう、新世紀」をテーマに

「ひびきあい、ともに学ぼう、新世紀」をテーマに「第17回公民館まつり」が3月10日(土)・11日(日)の2日間、中央公民館・文化会館で開催されます(主催は教育委員会・公民館まつり実行委員会)。

今年で17回目を迎えた公民館

「ひびきあい、ともに学ぼう、新世紀」をテーマに、公民館講座から生まれたグループなど、公民館を学習の場としている方たちの活動成果を発表するイベントです。子どもから大人まで楽しめる催し物がたくさんありますので、ご家族でぜひお出かけください。

【内容】

- ▽展示 書道・絵画・写真・彫刻・手芸・生け花・サークルの活動報告など
- ▽料理の即売・軽食 ケーキ・クッキー・五目ごはん・おこわ・ちらし寿司・赤飯・酒まんじゅう・梅ジュース・コーヒールなど
- ▽手工芸品の即売 毛糸の小物・ステンドグラス・袋物・アークセサリー・ブローチ・藤工芸・トールペイント作品など
- ▽その他 県立中央農校のみなさんによるコサージュ作り、絵手紙・粘土クラフト

## 運動公園・早朝テニスでさわやかに

海老名運動公園庭球場は、4月1日(日)から、通年で利用していただくことができるようになります(年末年始を除く)。ぜひご利用ください。

また、施設の保守点検等のため臨時に休場することもあります。他の海老名運動公園内各施設の休館日はこれまでどおりです。

◎ 体育課(内677)。

### 4月～9月朝7時から

市では例年どおり、海老名運動公園庭球場の早朝利用を4月から9月までの土曜・日曜日と祝日に行います(7月20日から8月31日までは毎日)。ぜひご利用ください。

▽利用時間 午前7時～9時

▽対象 庭球場個人利用の登録済の方

▽申込方法 使用月の前月の1日から窓口で先着順に受付。ただし、4月分は3月15日(木)から

▽申込窓口 体育課(閉庁日を除く午前8時30分～午後5時)

と、運動公園総合体育館・北部公園体育館(休館日を除く午前8時50分～午後8時)

◎ 体育課(内677)。

な成人式をニュースで知りながら、会場へ向かいました。「なるようにしかならない」わけでは、どんなことがあっても、決して腹を立てまい、とだけ思いながら…。といいますが、平成十年の成人式では、一部の心ない参加者がいたため、「やがてくる二十一世紀はみなさんの時代です。おおいに期待したい」というところですが、このありさまでは、期待できません。というふうな話をしたのを思い出したからです。しかし、本市の成人式は、校長時代から数えて十八回目でしたが、一番式らしい式だったと感じました(主催者としての自己満足?)。

翌九日の新聞には、「成人式離れに歯止めを 知恵絞る自治体」などは良い方で、「大荒れ成人式、暴言、暴行、飲酒など乱行続出」という見出しで大きく扱われていました。人の話を聞けない人間に、感謝の気持ち、責任感、協調性など育つはずがない。しつけを厳しくしなくてはならないが、「役にたつ喜び」を義務化するようになったら滅亡? 生活をがらりと変える覚悟が必要!と感じました。

## 生活を変えないと...



とを見たり聞いたりしたときを指しているわけですが。その一例が成人式です。

海老名市では、一月八日に行いましたが、千六百十九人が成人の仲間入りをしました。七日に行った一部自治体での眉をひそめるよう

海老名市長 亀井 英一

## 5月利用分から抽選 申込開始 北部公園庭球場



運動公園の庭球場

現在、整備を進めています。北部公園の庭球場利用について、今年5月利用分から海老名市スポーツ施設の抽選申込対象施設

として電話受付を開始します。他のスポーツ施設同様、利用月の2カ月前からの抽選申込となりますので、3月1日(木)か

追ってお知らせします。

◎ 体育課(内677)、北部公園体育館(☎292・3300)、海老名運動公園総合体育館(☎235・7204)。

## 海老名むかしばなし



風景の砂利採取の相模川のと思われる(池田武治・富澤美晴・鈴木義範監修「大和・座間・海老名・綾瀬の100年」より転載)

日で帰る人もいた。毎日勤まらなかつた。常雇いの人は五、六人ぐらい、私らの臨時雇いを合せて最盛期には三十人ぐらい働いていた。

「振るった砂利の計量には、巻尺が用いられた。その量によって賃金は支払われたが、当時並の日当が一円程度るとき、一人前振るう人は二円ぐらいかせげたので魅力があった」と。

このかせぎにきていた人は、遠くは磯部(相模原市)、寺尾・小園(綾瀬市)、市内では上今泉・国分・大谷・杉久保などの人たちが多かったという。時期に相異があるが、中新田・社家・門沢橋の河原に於いても砂利振るいは行われていた。

砂利は、関東大震災後の復興用、相模鉄道(現JR相模線)・神中鉄道(現相模鉄道)・小田急線などの線路のバラスト(砕石)用、厚木基地建設用、戦後の京浜地帯復興用と相次いで、その需要は測り知れず。その生産用具も万石式、簡易砂利採取機、灯りを煌々とともす様が「夜の銀座」とまでいわれた砂利採取船と進んだが、県が昭和三十九年、河床沈下防止のため相模川の砂利採取全面禁止を打ち出すまで、手振りの作業は続いた。

### 電話で海老名の昔話が聞けます

3/7まで 第258話 背が低くなつたお婆さん

3/8～4/9 第259話 笑う閻魔様

☎233・33333

私は、昭和三十年年代の後半勤務先が厚木市内にあり、夜遅く小田急線の電車で帰ることが時々あった。そうした折、電車が相模川の鉄橋を渡り切ろうとする左手下の河原に、カンテラ二つが赤くともされてるのを見かけた。それは、言わずと知れた砂利振るいのものであった。寒風に吹きさらされてまでのつらい夜業。その勤勉さに驚く半面、そぞろに哀愁の感に打たれたものであった。

ひるがえって冒頭の替え唄を思うに、「砂利振るい」の一句挿入によって郷土的な哀愁感を湧き起こさせ、当時の世相の一端をそこはかとなく表出している歌と評価し、感心とおもしろいものがある。 (池田 武治)